

## &lt;全体分析&gt;

試験時間

90 分

**解答形式**

英訳、書き換え、語句整序と本文中からの抜き出し以外はすべてマーク式。

**分量・難易（前年比較）**

分量（減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加）

難易（易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化）

読解総合の英文の総語数は2,695で、2022年度の2,615とほぼ変わりなかった。

**出題の特徴**

- ・大問構成は例年と同じく、会話文が1題と読解総合問題が4題。マーク式の設問は、出題数、傾向ともに例年とほぼ変化なし。記述式の設問は、英訳、書き換え、語句整序、抜き出しが出題されている。語句整序は、すべて英文の一部を埋める形式であり、設問数は3問で、2022度の4問より1問減少した。
- ・2018、2019年度などで出題されていた抜き出し問題が、2023年度に復活した。
- ・英文中に含まれる日本語の部分を英訳するという、1978年度から出題されてきた商学部伝統の和文英訳問題が、2021、2022年度には出題されなかったが、2023年度は復活した。ただし、英文の一部が与えられており、その一部の空所となっている部分を埋めるという形式であった。

**その他トピックス**

- ・商学部の定番であるTF型の内容真偽問題は、2023年度は出題されなかった。

## &lt;大問分析&gt;

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	その他	会話文「面接をめぐる打ち合わせ」	空所補充、同意表現選択、適語補充型の英訳 空所補充は、文脈をよく考え、代名詞の指示内容がうまく当てはまるものを選ぶ。選択肢(g)の point taken は「おっしゃる通り」という意味。設問3は、会話文中の和文を英訳する問題であるが、英文の一部が与えられており、残りの部分が空欄となっていて、それを埋める形式。	標準
II	読解総合	「嫌われ者のセルフレジが普及した要因」 (549 words)	内容一致、同義語選択、タイトル選択、書き換え 内容がわかりやすく、設問も標準的なレベルであるので、取りこぼしのないようにしたい。設問4は、下線が引かれた英文を書き換える問題であるが、書き換え後の英文の一部が与えられており、残りの部分が空欄となっていて、それを埋める形式。	標準
III	読解総合	「値上げに対する日本企業の謝罪のあり方」 (653 words)	空所補充、同義語選択、文挿入、内容一致、語句整序 身近な話題で取り組みやすく、取りこぼしのないようにしたい。設問5は語句整序問題であるが、足りない語が1語あり、それを補って解答しなければならない形式。実際に補わなければならない単語は to であった。	標準
IV	読解総合	「運動強度と食欲の関係」(607 words)	空所補充、同意表現選択、内容一致、タイトル選択、語句整序 本文中には難度の高い語彙も含まれているが、選択肢は素直で選びやすいものが多い。設問5は語句整序問題であるが、不要な語が2語含まれており、実際に使用しなかったのは by と measure であった。	標準
V	読解総合	「盗まれた iPhone をめぐる奇妙な物語」 (886 words)	同義語選択、空所補充、内容一致、語句整序、抜き出し 本文中には難度の高い語彙も含まれているが、選択肢は素直で選びやすいものが多い。設問5は語句整序問題であるが、不要な語が2語含まれており、実際に使用しなかったのは asking と of であった。	標準

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## &lt;学習対策&gt;

大半の問題は、標準レベルの読解力で対応できるが、英文の総語数が 2,000 を大きく超えるうえに、設問の数も種類も多いので、試験時間内に解答するには、ある程度スピーディに読み進めることが求められる。500～700語程度の様々なテーマの英文を用いた長文読解問題に数多く取り組み、英文中の設問に関連した箇所に注意しながら解答する訓練をしておくといよい。